

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果概要（質問調査結果）

太子町教育委員会

調査の概要について

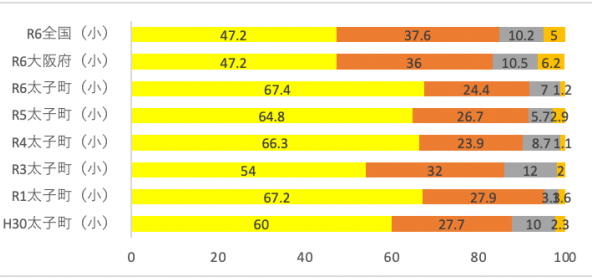
（１） 調査の目的
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（２） 対象学年
小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、支援学校小学部第6学年＜大阪府（公立）実施校数・児童数 972校 69,338人＞ 太子町 2校 86人
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、支援学校中学部第3学年＜大阪府（公立）実施校数・生徒数 468校 65,582人＞ 太子町 1校 87人

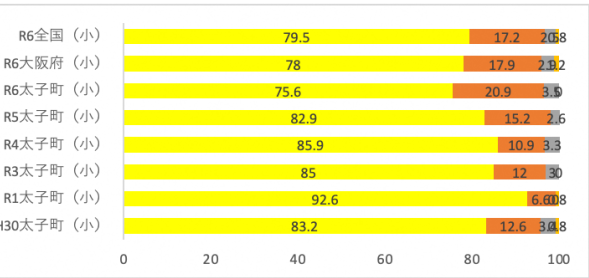
質問調査結果

▼ 経年比較をおこなっている指標について

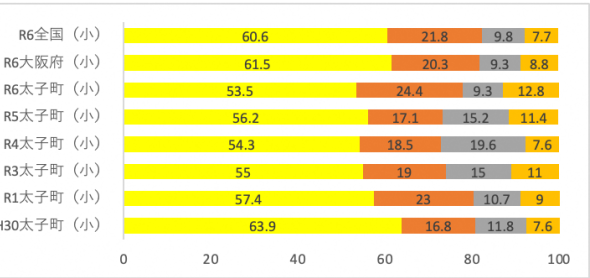
学校に行くのは楽しいと思いますか



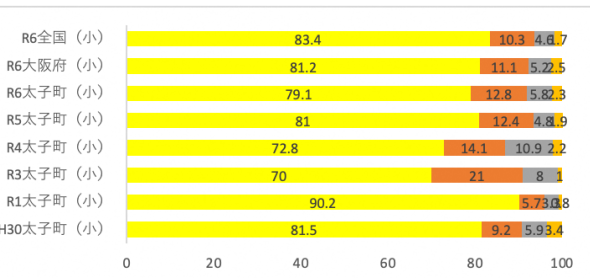
いじめは、どんな理由があってもいけないと思う



将来の夢や目標を持っていますか



朝食を毎日食べている



「学校が楽しい」と答える児童の割合が全国平均より大きく高い値でした。学校の魅力は家庭と地域の支えが不可欠です、家庭・学校・地域でつながり、子どもたちの成長を支える支援を続けます。「いじめはどんな理由でも許されない」と答えた児童の割合も全国・大阪府を下回っています。いじめは重大な人権侵害であり、子どもだけでなく、大人も含め人権意識の尊重に向けた取り組みの支援を続けます。夢や目標を持つ児童の割合が全国・大阪府より低い結果が続いています。学校は多様な体験を提供し、夢や目標を持つきっかけを与える役割を強化します。朝食を食べる児童の割合が低い傾向が続いています。家庭と連携し生活習慣を見直し、朝食を毎日とする習慣付けに向けて取り組みを支援します。

▼ 特徴的な指標について

自分には、よいところがあると思いますか



5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしなが、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



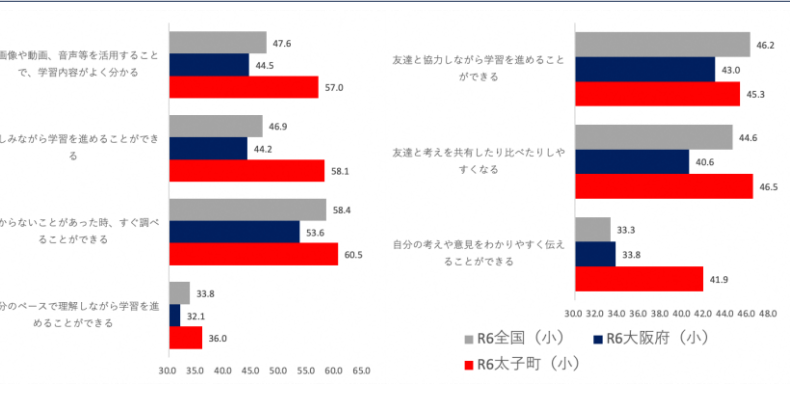
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



■ 当てはまる（強肯定） ■ どちらかといえば当てはまる（肯定） ■ どちらかといえば当てはまらない（否定） ■ 当てはまらない（強否定）

「自分によいところがあると思いますか」「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしなが、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」について、強い肯定的回答が全国平均・府平均を大きく超えています。自分に自信を持ち、学んだことを活かして自分の考えをまとめる活動が積極的におこなわれること。学級会では互いの意見を尊重し合い、解決策を見出していることが読み取れます。これらの結果が高いことから、授業を通じて学んだことを日常生活や学校生活の改善に役立てていることがわかります。

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどの活用することについて以下の点について強肯定の割合比較



5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



一人一台のタブレット端末が非常に積極的に活用されており、多くのデータから子どもたちの学びに大きく貢献していることがわかります。